

特定労務管理対象機関（連携B水準）の 指定申請について

令和5年11月 熊本大学病院

特定労務管理対象機関の申請区分・県審査基準の適合状況について

【申請区分】連携B水準（連携型特定地域医療提供機関）

【県審査基準の適合状況】

審査基準の内容		適否	備考
(1)	医師の派遣を通じて、地域の医療提供体制を確保するために必要な役割を担う医療機関であること。	○	(4～6ページ)
(2)	36協定においては年960時間以内の時間外・休日労働に関する上限時間の定めをしているが、副業・兼業先での労働時間を換算すると、時間外・休日労働が年960時間を超えることがやむを得ない医師が勤務していること。	○	(4～6ページ)
(3)	医師労働時間短縮計画の案が、当該病院又は診療所に勤務する医師その他関係者の意見を聴いて作成されたものであること。また、医師の労働時間の状況、労働が長時間にわたる医師の労働時間の短縮に係る目標、医師の労務管理及び健康管理に関する事項、労働が長時間にわたる医師の労働時間の短縮に関する事項が全て記載されていること。加えて派遣先(兼業先)に対する労働時間短縮の要請が記載されていること。	○	—
(4)	必要な面接指導及び休息時間の確保を行うことができる体制が整備されていること。	○	(7ページ) ※評価センターによる評価必須項目
(5)	労働法制にかかる違反、その他の措置がないこと。	○	—
(6)	医師の派遣が医療提供体制の確保のために必要と認められ、連携B水準を適用することが地域の医療提供体制の構築方針(医療計画等)、地域医療構想と整合的であり、地域医療提供体制全体としても医師の長時間労働を前提とせざるを得ないこと。	○	(4～6ページ)

病院全体の概要

- ＜理 念＞ 高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。
- ＜基本方針＞
- 高度な医療安全管理体制による安全安心で質の高い医療サービスの提供
 - 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
 - 先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
 - 地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
 - 理念達成のための健全な運営・経営の実践
- ＜職 員 数＞ 医師：676人
- ＜病 床 数＞ 病床数 845床（一般 795床 精神 50床）
- ＜政策医療＞
- ・ 特定機能病院 ・ 第三次医療の高度急性期医療機関
 - ・ 都道府県がん診療連携拠点病院（国指定）
 - ・ 脳卒中急性期拠点病院 ・ 高次脳機能障害者支援拠点病院
 - ・ 熊本県認知症疾患医療センター（基幹型）
 - ・ 急性心筋梗塞急性期拠点病院 ・ 熊本県総合周産期母子医療センター
 - ・ 救急告示病院、DMAT指定医療機関
 - ・ 新型コロナウイルス感染症 重点医療機関
 - ・ 新型コロナウイルス感染症 協力医療機関

県内唯一の特定機能病院として、県内各地の医療機関から、紹介患者を受け入れ、高度医療を提供したのち、かかりつけ医へ逆紹介を行い、各地の医療機関と連携して、安心安全な医療を提供している。

また、県の委託を受けて熊本県地域医療支援機構の業務を地域医療支援センターで引継ぎ、地域医療ネットワーク寄附講座、地域医療・総合診療実践学寄附講座と連携して、地域における医師偏在の解消を目的に県内の状況等を把握、分析した上で、医師のキャリア形成支援と一体的に、医師不足医療機関への支援を行っている。

人口10万人当たりの医師数が、熊本市内：428人 熊本市外：199人と2倍以上の開きがあり、地域の医療提供体制の確保には本院からの医師派遣が求められている。

令和5年7月における県内二次医療圏別医師派遣実績

【地域医療（産科除く）】

二次医療圏	医療機関数	※ 医師数	外来 従事日数	宿日直 従事回数
上益城	12	36	104	9
宇城	12	32	84	7
有明	13	64	184	15
鹿本	6	39	94	17
菊池	20	75	171	36
阿蘇	5	40	106	7
八代	7	36	100	12
芦北	7	48	87	38
球磨	10	43	127	7
天草	18	65	125	36

【地域医療（産科）】

二次医療圏	医療機関数	※ 医師数	外来 従事日数	宿日直 従事回数
鹿本	1	2	2	0
菊池	1	1	0	1
八代	1	1	1	0

※二次医療圏毎に実医師数を集計

●年間の時間外・休日労働時間数

呼吸器内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	823h 54m	780h 0m	770h 0m
最長	1,449h 0m	1,350h 0m	1,285h 0m

消化器内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	971h 8m	850h 0m	820h 0m
最長	1,597h 0m	1,350h 0m	1,285h 0m

血液内科・膠原病内科・感染症診療医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	914h 15m	740h 0m	730h 0m
最長	2,028h 0m	1,800h 0m	1,660h 0m

腎臓内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	759h 6m	650h 0m	620h 0m
最長	1,390h 0m	1,000h 0m	993h 0m

糖尿病・代謝・内分泌内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	980h 2m	800h 0m	800h 0m
最長	3,007h 0m	1,800h 0m	1,660h 0m

循環器内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,140h 41m	900h 0m	900h 0m
最長	1,959h 0m	1,600h 0m	1,493h 0m

脳神経内科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	563h 24m	530h 0m	520h 0m
最長	1,581h 0m	1,500h 0m	1,410h 0m

心血管外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,044h 40m	1,300h 0m	1,250h 0m
最長	1,330h 0m	1,700h 0m	1,577h 0m

呼吸器外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	931h 0m	1,071h 0m	1,045h 0m
最長	1,184h 0m	1,150h 0m	1,118h 0m

消化器外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,018h 30m	940h 0m	920h 0m
最長	2,172h 0m	1,750h 0m	1,700h 0m

乳腺・内分泌外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	588h 37m	940h 0m	930h 0m
最長	1,081h 0m	1,450h 0m	1,368h 0m

小児外科・移植外科・移植医療センター医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	930h 0m	910h 0m	900h 0m
最長	2,092h 0m	1,755h 0m	1,623h 0m

泌尿器科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	831h 56m	850h 0m	800h 0m
最長	1,667h 0m	1,500h 0m	1,410h 0m

産科・婦人科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	505h 26m	500h 0m	500h 0m
最長	1,248h 0m	1,200h 0m	1,160h 0m

小児科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	761h 57m	920h 0m	880h 0m
最長	1,703h 0m	1,750h 0m	1,618h 0m

整形外科・リハビリテーション部医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,025h 57m	782h 0m	781h 0m
最長	1,994h 0m	1,820h 0m	1,677h 0m

総合臨床研究部医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	763h 48m	1,113h 0m	1,087h 0m
最長	1,185h 0m	1,580h 0m	1,477h 0m

耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	739h 11m	600h 0m	550h 0m
最長	1,232h 0m	1,050h 0m	1,035h 0m

画像診断・治療科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	682h 4m	864h 0m	840h 0m
最長	1,940h 0m	1,400h 0m	1,327h 0m

放射線治療科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	997h 42m	980h 0m	950h 0m
最長	1,633h 0m	1,600h 0m	1,493h 0m

神経精神科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,150h 13m	1,120h 0m	1,110h 0m
最長	1,912h 0m	1,860h 0m	1,710h 0m

脳神経外科医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	862h 56m	830h 0m	820h 0m
最長	1,763h 0m	1,500h 0m	1,410h 0m

集中治療部医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	748h 15m	900h 0m	850h 0m
最長	909h 0m	1,100h 0m	1,077h 0m

病理部医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	546h 9m	500h 0m	500h 0m
最長	926h 0m	1,000h 0m	993h 0m

地域医療支援センター医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,053h 13m	921h 0m	906h 0m
最長	2,080h 0m	1,500h 0m	1,410h 0m

災害医療教育研究センター医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,578h 0m	1,400h 0m	1,327h 0m
最長	1,578h 0m	1,400h 0m	1,327h 0m

救急部	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1,344h 5m	1,200h 0m	1,100h 0m
最長	2,038h 0m	1,300h 0m	1,243h 0m

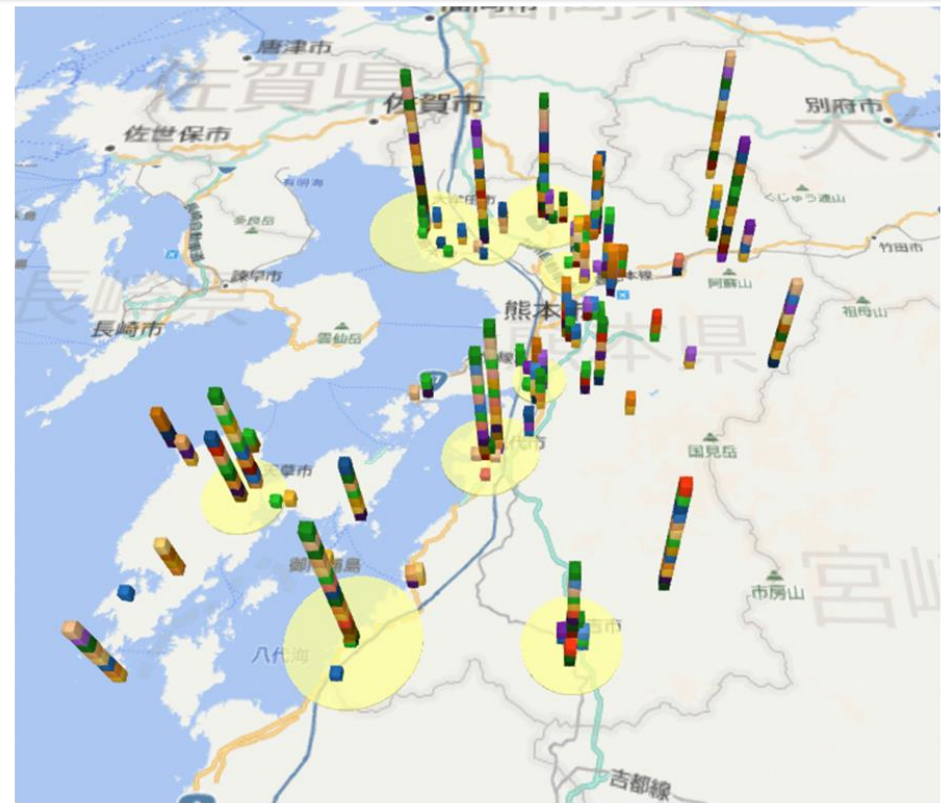
がんセンター医師	3年度実績	6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	497h 30m	470h 0m	460h 0m
最長	875h 0m	985h 0m	981h 0m

熊本大学病院の県内二次医療圏別(熊本市を除く) 医師派遣依頼状況(R5.5受付時点)

二次医療圏	医療機関数	医師数*
熊本・上益城 (熊本市除く)	12	71
宇城	13	66
有明	12	89
鹿本	5 (7)	76
菊池	20 (3)	127
阿蘇	7	66
八代	9 (1)	59
芦北	6	60
球磨	9	73
天草	15 (1)	131
合 計	108	—

* 二次医療圏ごとに実医師数を集計
実医師総数は414名
(本院所属医師〔研修医除く〕の58%)

()内の数字は、
産科医師で内数。



【棒グラフ】 高さ : 医療機関別の実医師数 色分け : 診療科別
【バブルグラフ】 丸黄色 : 地域医療支援病院 大きさ : 実医師数

・ 評価受審申請日
2023年3月29日

・ 評価結果通知日
2023年8月15日

・ 評価結果

医師の労働時間短縮に向けた
医療機関内の取組は、十分に行
われており、労働時間短縮が進
んでいる。

2023年8月3日

評価結果報告書

熊本大学病院 病院長 殿

医療機関勤務環境評価センター
代表 松本吉郎

[全体評価]

医師の労働時間短縮に向けた医療機関内の取組は十分に行われており、労働時間短縮が進んでいる

[指摘事項・助言等]

労働関係法令及び医療法に規定された事項について必要な要件を満たしている。それ以外の労務管理体制の整備も進んでおり、96%の診療科で複数主治医制が導入されるなど、労働時間短縮に向けた取組も十分になされている。労働時間短縮も進んでいる。

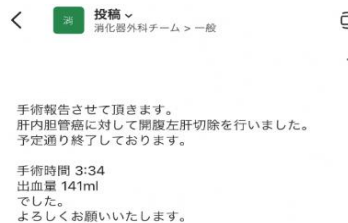
- 主治医制からチーム医療へ（急患・急変・緊急入院・夜間の看取りもチームで対応）
- Microsoft Teamsを活用した情報共有、カンファレンスの短縮、web化
- 多職種連携の強化：タスク・シフト／シェア
 - ・ 医療法一部改正によるメディカルスタッフの新規業務への取組
 - ・ 特定行為看護師の活用
 - ・ 患者移送支援室の設置と運用
 - ・ メディカルスタッフの増員（臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、内視鏡技師）
 - ・ 医師事務作業補助者の増員
(R4.5月_20:1加算取得 今後15:1を目指し増員予定)
 - ・ 医師事務作業補助者及び看護補助者増員のための大幅な処遇（給与単価）の改善
- 患者説明の勤務時間内実施（ポスター掲示及びホームページ公開）
- 検査・治療に関する説明用資材の作成と活用
- AI活用による読影業務の効率化（令和4年度第二次補正予算「医学部等教育・働き方改革支援事業」）

主治医制からチーム制へ: Teamsを用いた情報共有

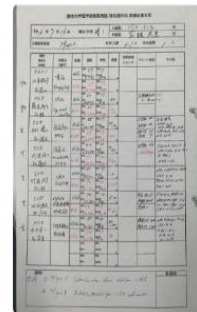
スマートフォンでの閲覧



手術報告

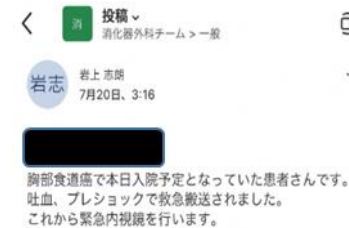


当直報告



当直報告です。術後、重症、緊急入院の方、著変なく経過されています。

緊急入院報告



緊急手術報告



個人情報保護の為に使用記録は病院で管理されている

医療法一部改正に伴う新規業務への取り組み

- 「医療従事者の負担軽減等取組検討委員会」においてタスクシフトの進捗を管理
 - ・委員会において、各職種から医師業務の一部をシフトするための進捗を報告
- 病院長ヒアリングで各診療科、医療技術部の各部門に対して説明
 - ・更に理解が十分でない部署については、個別面談して、積極的な取り組みを依頼
 - ・業務の効率化を図った上で、新規業務へのマンパワーが不足する場合は、増員を検討

(例) 看護師・特定行為研修修了者の活用

⇒令和2年2月26日特定行為指定研修機関に認定

外科術後病棟管理領域パッケージ

令和2年度 第1期 修了者6名（院内5名＋院外1名）
令和3年度 第2期 修了者8名（院内4名＋院外4名）
令和4年度 第3期 修了者10名（院内8名＋院外2名）
令和5年度 第4期 受講者8名（院内3名＋院外5名）



さらに、令和5年度～

術中麻酔管理領域パッケージ研修開始

院内2名、院外5名 受講開始

(各職種のタスクシフト実施項目数)

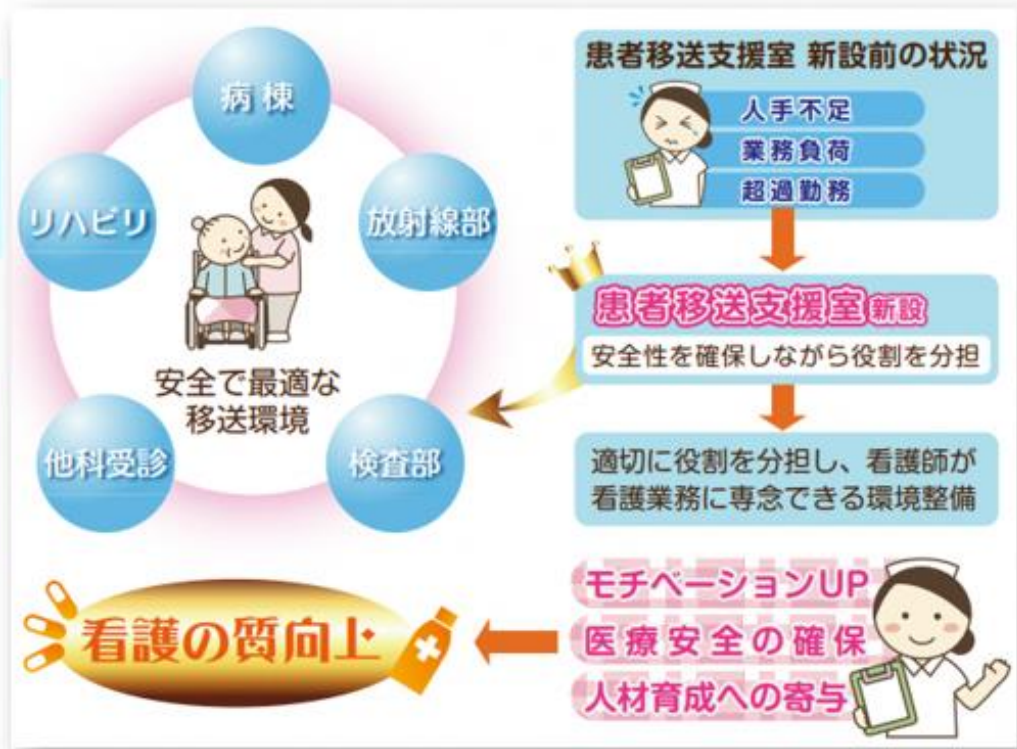
看護師	26項目
助産師	2項目
薬剤師	9項目
臨床検査技師	26項目
診療放射線医師	17項目
臨床工学技士	19項目
理学療法士	1項目
作業療法士	2項目
言語聴覚士	4項目
視能訓練士	2項目
医師事務作業補助者	2項目
病理部	6項目
栄養管理部	1項目

患者移送支援室の設置と運用（看護師の業務負担を軽減）

患者移送支援室の設置

目的はリハビリテーションや放射線治療、他科受診・検査室への移送を担い、看護師の業務負担軽減と効率化を図るため

今後は、患者移送の一部を患者移送支援室に依頼することによって得られた時間を看護ケアに活用し、さらなる看護の質の向上を目指す



「人員増」及び「配置部署拡大」

（現在）病棟に10名配置 → （計画中）外来に5名程度新たに配置予定

処遇改善

- ・ 緊急手術等手当(休日・時間外・深夜の手術・処置(1,000点以上)(加算1)に基づく)の新設
- ・ 特定行為看護師手当の新設 5000円/月
- ・ 看護補助者(ナースエイド)及び医師事務作業補助者(ドクターズクラーク)の単価引き上げ
(経験年数、資格の有無により単価決定。時間当たり100円程度の増額)
- ・ 看護補助者(ナースエイド)のフルタイム化
- ・ 医師事務作業補助者(ドクターズクラーク)の統括リーダー、グループリーダーへの手当の支給

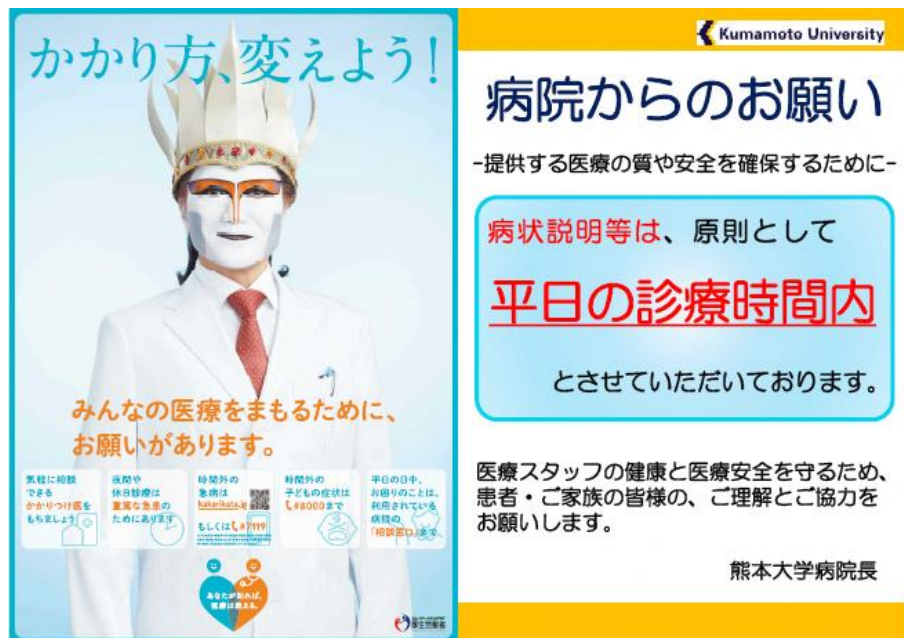
働き方改革に向けた増員

- | | |
|------------|--------------------------|
| ・ 中央放射線部 | 診療放射線技師の2名増員 |
| ・ 光学医療診療部 | 講師、特任助教、内視鏡技師を各1名増員 |
| ・ 栄養管理部 | 管理栄養士の増3名増員 |
| ・ 救急部 | 救急救命士の1名増員 |
| ・ ME機器センター | 臨床工学技士2名増員 |
| ・ 超音波センター | 臨床検査技師の2名増員、診療放射線技師の1名増員 |

病状説明の診療時間内実施

患者向けポスター等により病状説明の診療時間内実施を周知

- ・ 県内医療機関との足並みを揃えるため積極的な広報を行ってこなかったが、R3年7月から周知を開始
→ 熊本県にも県内医療機関に対して周知を依頼中
- ・ 国の施策でもあることを理解していただくため、厚生労働省のポスターとセットで掲示（左）、HPにも掲載し周知（右）



厚生労働省のポスターとセットで院内掲示



HPに掲載し周知